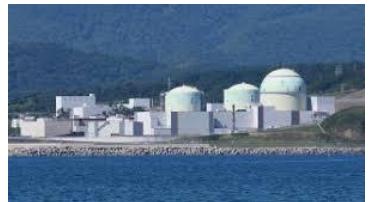


【泊原発で福島第1原発並みの事故が起きたとき、道都札幌はどうなるの？】

～避難・防災計画についての学習会～



北海道の避難防災計画では、30キロ圏内の住民の避難防災計画となっています。しかし、万一、地震と共に原子力災害が発生したら、札幌市民の皆さんは、どのように被害を防げるでしょうか？

札幌市内で、全半壊した建物には屋内退避はできません。避難所では中に入れない人が溢れます。原子力災害が発生する場合の被害を、札幌市内の地震被害の予想データと併せて、市民が放射能を防げるのかを検証し、北海道の防災計画のズさんさを明らかにしたいと思います。

2月20日(金) 10:00～12:00

場所：札幌エルプラザ2F 環境研修室①②
(札幌市北区北8条西3丁目28)

講師：市川 守弘 参加費：無料 託児：無料

問い合わせ：生活クラブ本部 担当 川口 011-887-8891

※組合員以外の方も参加可能です。是非お誘いあわせの上、ご参加ください。

QRコードからの
申込はこちら



【講師紹介】～市川守弘（いちかわ・もりひろ）～

1954年東京都清瀬市生、1988年に札幌弁護士会登録、2018年に旭川弁護士会登録。1999年から2002年までコロラド大学ロースクールの自然資源法センターに留学し、自然資源法（自然保護法、土地法、水法などの歴史と制度）、アメリカインディアン法を専攻。関係する訴訟は、やんばる訴訟（進行中）、サホロスキー場造成訴訟、水害に関して只見川水害訴訟、アイヌサケ捕獲権確認訴訟（進行中）

【著書・論文】・アメリカインディアン法の生成と発展・アイヌの権利とは何か（共著・かもがわ出版、2020）

きりとり

2/20(金)「市川 守弘氏 学習会」申込	※締切 2/16(月)	生活クラブ本部 川口行
支部() コースコード()	氏名()	()
電話番号()		
託児希望の方(フリガナをお願いします)		
子どもの名前() 年齢(才 か月)	アレルギー()	()
子どもの名前() 年齢(才 か月)	アレルギー()	()
※託児の申込がある方は、お手数ですが本部川口までご連絡ください(011-887-8891)		